



岩手県グリーン/ブルーボンド（令和6年度発行） インパクトレポート・ブック

令和7年10月 確報版





目次

岩手県とSDGsの関わり

① 岩手県の概要	3
② 東日本大震災津波からの復旧・復興	4
③ いわて県民計画（2019～2028）	5
④ 第2次岩手県地球温暖化対策実行計画	6

岩手県グリーン/ブルーボンドの概要

① グリーン/ブルーボンドについて	8
② 発行概要	9
③ 投資表明一覧	10

フレームワークに基づくレポーティング

① 資金の充当状況・環境改善効果に係るレポーティング	12
② 主な資金使途について	14

- 岩手県では、令和6年7月、県として2回目となるグリーン/ブルーボンドを発行しました。
- 令和5年度の初回債においては、環境省が主催する第5回ESGファイナンス・アワード・ジャパン（金融部門-資金調達者部門）において「環境大臣賞 銀賞」を、一般社団法人環境金融研究機構が主催する第9回サステナブルファイナンス大賞において「地域金融賞」を獲得しました。

第5回ESGファイナンス・アワード・ジャパン
「環境大臣賞 銀賞」受賞（金融部門-資金調達者部門）



令和6年2月19日表彰式当日の様子
（左：達増知事、右：伊藤環境大臣）

岩手県とSDGsの関わり

岩手県の概要



本県は本州の北東部に位置し、東西約122キロメートル、南北約189キロメートルと南北に長い楕円の形をしています。その広さは北海道に次ぐ面積であり、日本の面積の4%を占めています

岩手県の地勢

- 内陸部の大部分は山岳丘陵地帯で占められ、西側には秋田県との県境に奥羽山脈があり、これと並行して東部には北上高地が広がっています。そして、この二つの山系の間を北上川が南に流れ、その流域に平野が広がっています
- 沿岸部は、宮古市より北では、典型的な隆起海岸で、海食崖や海岸段丘が発達しています。一方、宮古市より南側は北上高地の裾野が沈水してできた、日本における代表的なリアス式海岸で、対照的な景観をみせています

岩手県の気候

- 奥羽山脈の山沿い地方は、冬に雪の多い日本海側の気候を、北上高地は高原性、盆地性の気候を示します。また、北上川沿いの平野部は、全般的に冬は寒さがきびしく、夏は暑い内陸性の気候を示します
- 沿岸部では海洋性の気候を示しますが、宮古市以北では寒流の影響のため全般的に気温が低く、冷害などの気象災害がおこりがちです



岩手山（八幡平市、滝沢市、雫石町）



山王岩（宮古市）



【出所】

図：いわてデジタルマップ

左写真：#iiwateフォトコンテスト2019入賞「威厳」

右写真：#iiwateフォトコンテスト2021入賞「白亜紀の記憶 三王岩」

東日本大震災津波からの復旧・復興



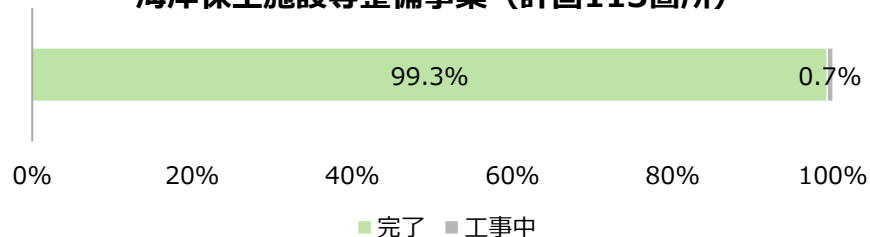
国からの手厚い財政措置などにより、復旧・復興事業は着実に進展してきました

復興道路が令和3年12月に全線開通、災害公営住宅の整備が令和2年12月までに完了、商業施設や水産加工施設が順次再開されるなど、計画されたハード事業の多くが完了しました

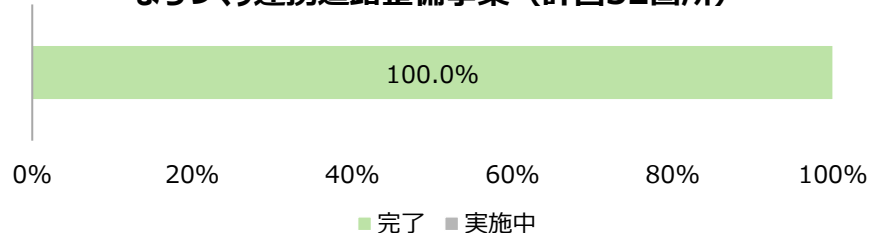
主な復興事業の進捗状況（令和7年3月31日時点）

安全の確保

海岸保全施設等整備事業（計画113箇所）

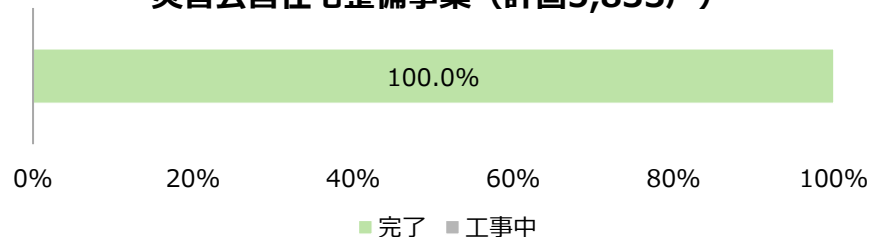


まちづくり連携道路整備事業（計画32箇所）



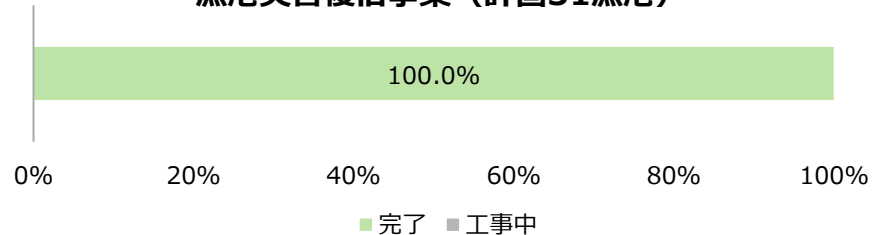
暮らしの再建

災害公営住宅整備事業（計画5,833戸）



なりわいの再生

漁港災害復旧事業（計画31漁港）



いわて県民計画（2019～2028）



本県では、「幸福」をキーワードとする10年間の長期計画「いわて県民計画（2019～2028）」を策定し、幸福を実感できる地域社会の実現に向けて取組を進めています

「いわて県民計画」とは

- 復興施策も含めた県行政の全般にわたる政策や施策の基本的な方向を総合的かつ体系的に定める県の最上位計画
- 2019年度から2028年度の10年間を計画期間としている

基本目標

東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて

SDGsとのかかわり

- SDGsが掲げる「誰一人として取り残さない」という基本方針は、いわて県民計画（2019～2028）における、幸福を守り育てようとする考え方と相通じるものです
- 本県も、計画の推進・取組の展開を通して、次世代にも幸福を引き継いでいけるよう、持続可能な社会の構築に取り組んでいくこととしています



いわて県民計画 長期ビジョン

第2次岩手県地球温暖化対策実行計画



本県は、「温室効果ガス排出量の2050年度実質ゼロ」を目指し、県民や事業者、行政などの各主体が一体となって、気候変動の原因となる温室効果ガス排出削減対策の緩和策と、気候変動により今後予測される被害を回避し軽減する適応策に取り組むことにより、持続可能な脱炭素社会を実現するため、第2次岩手県地球温暖化対策実行計画を策定しました

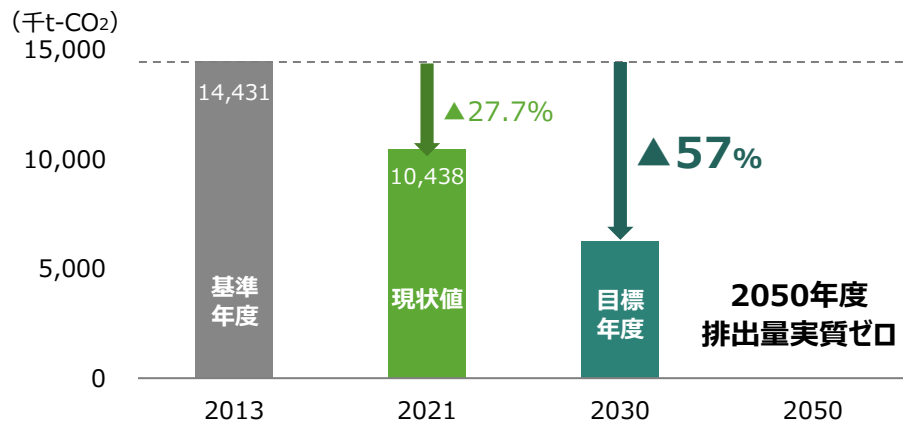
目指す姿

省エネルギーと再生可能エネルギーで実現する
豊かな生活と持続可能な脱炭素社会

目標 (2030年度)

- 温室効果ガス排出削減割合（2013年度比）…… 57%
- 再生可能エネルギー電力自給率 …………… 66%
- 森林吸収量 …………… 1,416千トン

温室効果ガス削減目標

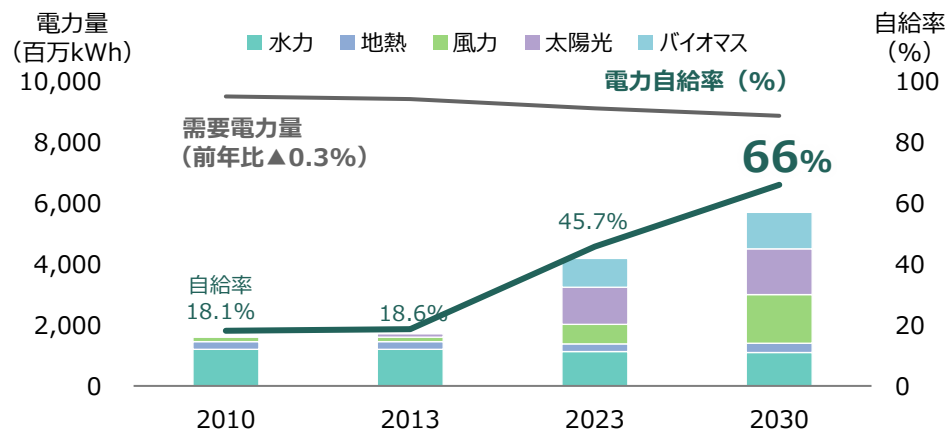


※ 排出量実質ゼロ：排出量から森林吸収量等を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

温室効果ガス削減量

削減対策等	目標値	
	削減量 (千t-CO ₂)	削減割合
削減対策等	▲6,774	▲47%
うち、再エネ導入	▲1,040	▲7%
森林吸収	▲1,416	▲10%
合計	▲8,189	▲57%

再エネ電力自給率



岩手県グリーン/ブルーボンドの概要



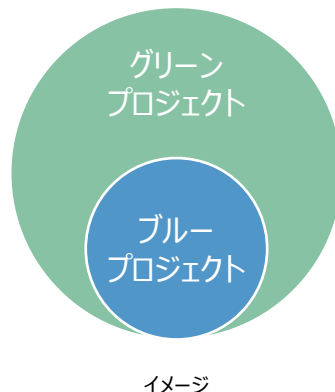
グリーン/ブルーボンドについて



岩手県は、本邦地方公共団体で初となる、ブループロジェクトを資金使途に含めた「グリーン/ブルーボンド・フレームワーク」を令和5年6月に策定し、令和5年7月、令和6年7月にグリーン/ブルーボンドを発行しました

グリーン/ブルーボンドとは

- 地球温暖化など環境的課題解決に貢献する取り組みを「グリーンプロジェクト」と言います
- また、「グリーンプロジェクト」のうち、海洋資源・生態系の保護等に資する取り組みが「ブループロジェクト」です
- こうした「グリーン/ブループロジェクト」に必要な資金を調達するために発行される債券を「グリーン/ブルーボンド」と言います



岩手県グリーン/ブルーボンド フレームワークについて

- 岩手県グリーン/ブルーボンド・フレームワークでは、グリーン/ブルーボンドの充当事業の詳細、資金管理方法、レポーティング項目等について定めています
- 本フレームワークに基づき調達された資金は、環境改善効果が見込まれる事業に充当され、その事業の効果を投資家に適切に情報公開いたします
- フレームワーク及び第三者評価については、本県ウェブサイトにて公開しています



岩手県グリーン/ブルーボンドの情報

URL : <https://www.pref.iwate.jp/kensei/yosan/1059090/1072370/index.html>



岩手県令和6年度第1回公募公債（グリーン/ブルーボンド・5年）発行概要



発行の背景

- 森・川・海の豊かな自然が存在する本県の実環境保全の取り組みでは、森林、河川、海岸等における多様な自然環境を、人の活動と調和を図りながら体系的に保全することが不可欠です
- こうした背景から、気候変動の緩和または適応に資するグリーンプロジェクトのみならず、海洋資源・生態系の保全等に資するブループロジェクトも資金使途に含めた、グリーン/ブルーボンド・フレームワークを、地方公共団体としては初めて策定しました
- このたびのグリーン/ブルーボンド発行による資金調達により、県内におけるGX（グリーントランスフォーメーション）の推進による地域経済と環境に好循環をもたらす持続可能な新しい成長を目指す取り組みを実施するとともに、東日本大震災津波で被災した三陸海岸における海洋と沿岸の保全強化等に資する事業を推進していきたいと考えております

岩手県グリーン/ブルーボンドの概要	
銘柄名	岩手県令和6年度第1回公募公債（グリーンボンド・5年）
発行総額	50億円
発行日/償還日	令和6年7月25日/令和11年7月25日
利率	年 0.628%（令和6年7月11日条件決定）
主幹事証券会社	大和証券株式会社/野村証券株式会社/みずほ証券株式会社
適合性評価	本債券の発行に際し、資金使途などを明記した発行の枠組み（グリーン/ブルーボンド・フレームワーク）を策定し、第三者機関である株式会社日本格付研究所（JCR）より、国際資本市場協会（ICMA）によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンドガイドライン2022年版等への適合性について、最上位である「Green1（F）」及び「Blue1（F）」の評価を受けています
購入対象先	機関投資家

令和6年度 投資表明一覧



令和6年度グリーン/ブルーボンドでは、107件の投資家の皆様より趣旨にご賛同いただき、投資表明を実施いただきました

投資表明投資家一覧

- 株式会社アイオー精密
- 株式会社アイシーエス
- 株式会社 アジテック
- 株式会社雨風太陽
- 一関市
- 一関信用金庫
- 株式会社今弘スチール
- 岩手江刺農業協同組合
- 株式会社岩手銀行
- 岩手県医師信用組合
- 一般財団法人 岩手県遺族連合会
- 岩手県漁業協同組合連合会
- 岩手県空港ターミナルビル株式会社
- 社会福祉法人岩手県社会福祉事業団
- 岩手県商工会連合会
- 岩手県信用農業協同組合連合会
- 岩手県ハイ・タク交通共済協同組合
- 公益財団法人岩手県予防医学協会
- 岩手自動車販売株式会社
- いわて生活協同組合
- 岩手中央農業協同組合
- 岩手電工株式会社
- 株式会社岩手日報社
- いわて平泉農業協同組合
- 岩手町
- 岩手三菱ふそう自動車販売株式会社
- 奥州市
- 株式会社大久保建設
- 大船渡市
- 大船渡市農業協同組合
- 株式会社小原建設
- 金ケ崎町
- 社会福祉法人釜石市社会福祉協議会
- 可茂衛生施設利用組合
- 軽米町
- 税理士法人 キーファス
- 学校法人北上学園
- 北上市
- 公益財団法人北上市スポーツ協会
- 北上信用金庫
- 北上電工株式会社
- 株式会社北日本銀行
- 久慈市
- 社会福祉法人久慈市社会福祉事業団
- 葛巻町
- 九戸村
- 株式会社ケイ・シー・ティー
- 医療法人社団敬和会
- 株式会社小山組
- 株式会社 佐賀組
- 佐々木建設株式会社
- 株式会社佐武建設
- 佐藤工業株式会社
- 雫石町
- 株式会社システムベース
- 下館建設株式会社
- 住宅金融支援機構
- 白金運輸株式会社
- 紫波碎石株式会社
- 紫波町
- 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
- 新興電気株式会社
- 株式会社 セキエイ
- 株式会社総合土木コンサルタンツ
- ソニー損害保険株式会社
- 株式会社 第四北越銀行
- 株式会社田清
- 種市電工株式会社
- 田野畑村
- 株式会社田村工務店
- 株式会社 千葉銀行
- 株式会社照甲組
- 株式会社東北銀行
- 株式会社遠山産業
- 株式会社トキワ『カルチャーパークあてるい』
- 株式会社徳島大正銀行
- 株式会社 土木技研
- 公益財団法人 長野県産業振興機構
- 株式会社 中村商会
- 二戸市
- 日本赤十字社岩手県支部
- 株式会社にまいばしミート
- 野田村
- 八幡平市
- 花巻市
- 株式会社ビルド遠藤
- 洋野町
- 普代村
- 公益財団法人 船橋市中小企業勤労者福祉サービスセンター
- 有限会社ブライトステージ
- 医療法人 芳譲会
- 医療法人本田医院
- 医療法人 松井内科医院
- 株式会社丸片ガス
- 株式会社マルカン
- 水沢信用金庫
- 宮城建設株式会社
- 株式会社明和土木
- 盛岡信用金庫
- 株式会社盛岡地域交流センター
- 株式会社ヤマイチ
- 有限会社山徳建設
- 横澤林業株式会社
- 株式会社 リードコナン
- 陸前高田市
- 有限会社 渡邊商事
- 和同産業株式会社

※五十音順

令和6年度 グリーン/ブルーボンド・フレームワーク に基づくレポーティング

令和6年度 資金の充当状況・環境改善効果に係るレポーティング①



令和6年度はグリーンプロジェクト、ブループロジェクトとして以下に充当しました

	事業区分	グリーン・ブルー適格プロジェクト	充当金額(※)	効果/実施事業内容
グリーンプロジェクト	再生可能エネルギー	太陽光発電関連設備の導入	8百万円	- 県有施設への太陽光発電設備の導入（整備中） - 整備施設数 5 施設 - 推定CO₂排出削減量 31t-CO₂/年
	エネルギー効率	- 県有施設における高効率照明の導入 - 信号機のLED化	814百万円	- 照明設備のLED化（整備中を含む） - 導入施設数 6 施設 - 使用電力量50%以上削減見込（1 施設あたり平均） - 信号機のLED化 - 導入灯数 1,669灯 - 使用電力量85%以上削減見込
	生物自然資源及び土地利用に係る環境維持型管理	国定公園・自然公園等施設整備事業	37百万円	- 公園の適正利用及び環境保護を図るため、自然公園等の施設整備を実施 - 整備箇所数 6 箇所（整備中の箇所を含む）
	クリーン輸送	電気自動車、プラグインハイブリッド車の導入	18百万円	- 導入台数 8 台 - 推定CO₂排出削減量 11t-CO₂/年
	気候変動への適応	- 河川改修事業 - 道路環境改善事業（無電柱化改良） - 砂防事業・急傾斜地崩壊対策事業	1,267百万円	- 河川等関連事業（事業実施箇所数） 11箇所（整備中） - 無電柱化推進事業（整備延長）0.6 k m - 砂防関連事業 - 事業実施箇所数 32箇所（整備中の箇所を含む） - 受益戸数（整備完了分） 38戸
	合計	金額	2,144百万円	
		比率	43%	

※ 十万円以下を四捨五入しているため、表中の積み上げと合計が一致しない場合があります

令和6年度 資金の充当状況・環境改善効果に係るレポーティング②



令和6年度はグリーンプロジェクト、ブループロジェクトとして以下に充当しました

	事業区分	グリーン・ブルー適格プロジェクト	充当金額(※)	効果/実施事業内容
ブルー プロジェクト	生物自然資源及び 土地利用に係る環 境維持型管理	藻場整備	275百万円	- 藻場造成実施箇所数 5箇所（整備中の箇所を含む） - 藻場の造成により、餌場・産卵場の増加に伴う水産資源の回復や藻場による海中の二酸化炭素の吸収が期待されます
		高度衛生管理に対応した漁港施設の整備	2百万円	- 漁港施設整備箇所数 1箇所 - 整備完了後、高度衛生管理により、水産物の安全性の向上及び安定供給に貢献することが期待されます
		水産高校実習船の整備	684百万円	- 実習船によって実習を行う生徒数 延べ99人/年（計画値） - 水産業の将来を担う人材育成（持続可能な漁法の教育）により、海洋資源の持続的な保全が期待されます
		林道の開設・改良	550百万円	- 整備延長 4km（整備中分を含む） - 林道整備により森林へのアクセスや適切な森林管理が可能となり、水源涵養機能が働き、良質な水資源の安定的な供給が期待されます
		水源涵養のため、荒廃森林を整備	503百万円	- 整備箇所数 36箇所（整備中の箇所を含む） - 森林整備により水源涵養機能が働き、良質な水資源の安定的な供給が期待されます
	生物自然資源及び 土地利用に係る環 境維持型管理 気候変動への適応	防波堤、護岸等の整備	842百万円	- 整備箇所数 32箇所（整備中の箇所を含む） - 防波堤、護岸等の整備により、安定的な水産業の継続が可能となり、漁業関係者の就労環境の向上が期待されます - 防波堤、護岸等の整備により、荒天時の高波被害の防止が期待されます
	合計	金額	2,856百万円	
		比率	57%	

※ 十万円以下を四捨五入しているため、表中の積み上げと合計が一致しない場合があります

令和6年度 グリーン/ブルーボンドの主な資金使途について①



信号機のLED化（充当金額456百万円）

- 良好な道路交通環境の維持に向け、長寿命化による維持管理・更新を計画的に進めるとともに、交通安全施設の省エネルギー化を図るものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
エネルギー効率	エネルギー使用量の削減

環境改善効果	
導入件数	車灯982灯 歩灯687灯
使用電力削減量	85%以上削減見込

令和6年度の実施状況

- 令和6年度は、1,669灯の信号機をLED化しました



LED式の信号機

河川等関連事業のうち

基幹河川改修事業（充当金額661百万円）

- 浸水被害が懸念される河川において、浸水被害の軽減を図るため、計画に基づき川幅の拡幅・築堤等の河川改修工事を行うものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
気候変動への対応	水害・土砂災害等の自然災害発生時の被害リスクの軽減

環境改善効果		
整備箇所数	10箇所（整備中）	
	<table border="1"> <tr> <td>岩崎川【紫波町】、 北上川（上流【岩手町】、 千厩川（中流【一関市】、 小本川【岩泉町】、 馬淵川（2箇所）【一戸町】、</td><td>木賊川【盛岡市、滝沢市】、 気仙川【陸前高田市、住田町】、 安比川【二戸市】、 小屋畑川【久慈市】</td></tr> </table>	岩崎川【紫波町】、 北上川（上流【岩手町】、 千厩川（中流【一関市】、 小本川【岩泉町】、 馬淵川（2箇所）【一戸町】、
岩崎川【紫波町】、 北上川（上流【岩手町】、 千厩川（中流【一関市】、 小本川【岩泉町】、 馬淵川（2箇所）【一戸町】、	木賊川【盛岡市、滝沢市】、 気仙川【陸前高田市、住田町】、 安比川【二戸市】、 小屋畑川【久慈市】	

令和6年度の実施状況

- 令和6年度は、10箇所で河川改修工事を実施しました



施工前



施工後

北上川（下流）

令和6年度 グリーン/ブルーボンドの主な資金使途について②



砂防関連事業のうち

砂防事業・急傾斜地崩壊対策事業（充当金額430百万円）

- 土石流による被害の防止・軽減を図るため、砂防堰堤等の整備を実施するものです。また、急傾斜地の崩壊による被害を防止するため、擁壁等の整備を実施するものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
気候変動への対応	水害・土砂災害等の自然災害発生時の被害リスクの軽減

環境改善効果	
整備箇所数	32箇所（整備中の箇所を含む）
受益戸数（整備完了分）	38戸

令和6年度の実施状況

- 令和6年度は、2箇所では急傾斜地崩壊対策事業に係る工事が完了しました



施工前



施工後

急傾斜地崩壊対策事業

電気自動車導入事業（充当金額18百万円）

- 運輸部門において環境改善効果の高い次世代自動車の導入促進を図るため、県が率先して公用車に電気自動車を導入するものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
クリーン輸送	エネルギー使用量の削減

環境改善効果	
導入台数	8台
推定CO ₂ 排出削減量	11t-CO ₂ /年

令和6年度の実施状況

- 令和6年度は、8台の電気自動車を導入しました



電気自動車

令和6年度 グリーン/ブルーボンドの主な資金使途について③



高度衛生管理に対応した漁港施設の整備（充当金額2百万円）

- 高度衛生管理に対応した漁港施設の整備することにより、水産物の安全性の向上及び安定供給に貢献するものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
生物自然資源及び 土地利用に係る環境維持型管理	高度衛生管理により、水産物の安全性の向上及び安定供給に貢献

環境改善効果	
漁港施設整備箇所数	1 箇所 太田名部漁港
整備完了後、高度衛生管理により、水産物の安全性の向上及び安定供給に貢献することが期待されます	

令和6年度の実施状況

- 令和6年度は、1箇所では漁港施設の整備を行いました



施工前



施工後

太田名部漁港 臨港道路の整備

水産高校実習船の整備（充当金額684百万円）

- 水産実習に使用する新型の共同実習船を建造し、水産業の将来を担う人材を育成し、水産資源の持続的な生産、保全に貢献するものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
生物自然資源及び 土地利用に係る環境維持型管理	水産業の将来を担う人材を育成することで、水産資源の持続的な生産や保全に貢献

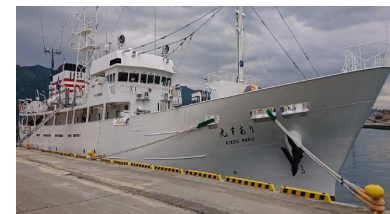
環境改善効果	
実習船によって実習を行う 生徒数	延べ99人/年
水産業の将来を担う人材育成により、海洋資源の持続的な保全が期待されます	

令和6年度の実施状況

- 令和6年度は、新しい実習船が完成しました



以前の実習船



新しい実習船

令和6年度 グリーン/ブルーボンドの主な資金使途について④



防波堤・護岸等の整備（充当金額842百万円）

- 県内に所在する漁港において、防波堤、護岸等の整備・改良を行い、持続的な漁業生産及び高波による被害防止に貢献するものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
生物自然資源及び 土地利用に係る環境維持型管理 気候変動への適応	高波から漁船等を防護することにより、持続的な漁業生産及び高波被害の防止に貢献

環境改善効果	
整備箇所数	32箇所（整備中の箇所を含む）
防波堤、護岸等の整備により、安定的な水産業の継続が可能となり、漁業関係者の就労環境の向上が期待されます	
防波堤、護岸等の整備により、荒天時の高波被害の防止が期待されます	

令和6年度の実施状況

- 令和6年度は、4箇所の防波堤・護岸等の整備が完了しました



（崎浜漁港）護岸

藻場の整備（充当金額275百万円）

- 水産動植物の生息場となる藻場などの漁場を整備し、漁場における水域環境の改善と生産力の回復による水産資源の増大などに貢献するものです

プロジェクトカテゴリー	環境面での便益
生物自然資源及び 土地利用に係る環境維持型管理	漁場における水域環境の改善と生産力の回復に依る水産資源の増大や、安定供給に貢献

環境改善効果	
整備箇所数	5箇所（整備中の箇所を含む）
藻場の造成により、餌場・産卵場の増加に伴う水産資源の回復や藻場による海中の二酸化炭素の吸収が期待されます	

令和6年度の実施状況

- 令和6年度は、5箇所で藻場造成を実施しました



（大槌地区）藻場



（田老地区）藻場

岩手県総務部財政課 調査担当

住所 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号

TEL 019-629-5104 FAX 019-629-5114

HP <https://www.pref.iwate.jp/kensei/yosan/1059090/index.html>